



栗田工業株式会社

2022年3月期  
**決算説明会**

---

(証券コード：6370)

2022年5月9日

- 
- 1** | 2022年3月期 実績 ..... p 1 -10
  - 2** | 2023年3月期 計画 ..... p11-20
  - 3** | 中期経営計画MVP-22  
(Maximize Value Proposition 2022)の進捗 ..... p21-26

# 1 | 2022年3月期 実績

---

# 業績概況

(単位：億円)		2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し (1/31発表)
受	注 高	2,623	3,152	+ 20.2%	2,960
売	上 高	2,677	2,882	+ 7.6%	2,910
事	業 利 益	295	329	+ 11.8%	340
そ	の 他 の 収 支	21	28	—	0
営	業 利 益	315	357	+ 13.3%	340
税	引 前 利 益	292	301	+ 3.2%	292
親	会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 当 期 利 益	191	185	△ 3.2%	180
基本的1株当たり当期利益 (円)		169.94	164.38	△ 3.3%	160.19
自己資本利益率 (ROE)		7.7%	7.0%	△ 0.7pp	—
為 替 レ ー ト	USD (円)	106.1	112.4		110.8
	EUR (円)	123.7	130.6		130.9
	CNY (円)	15.7	17.5		17.2

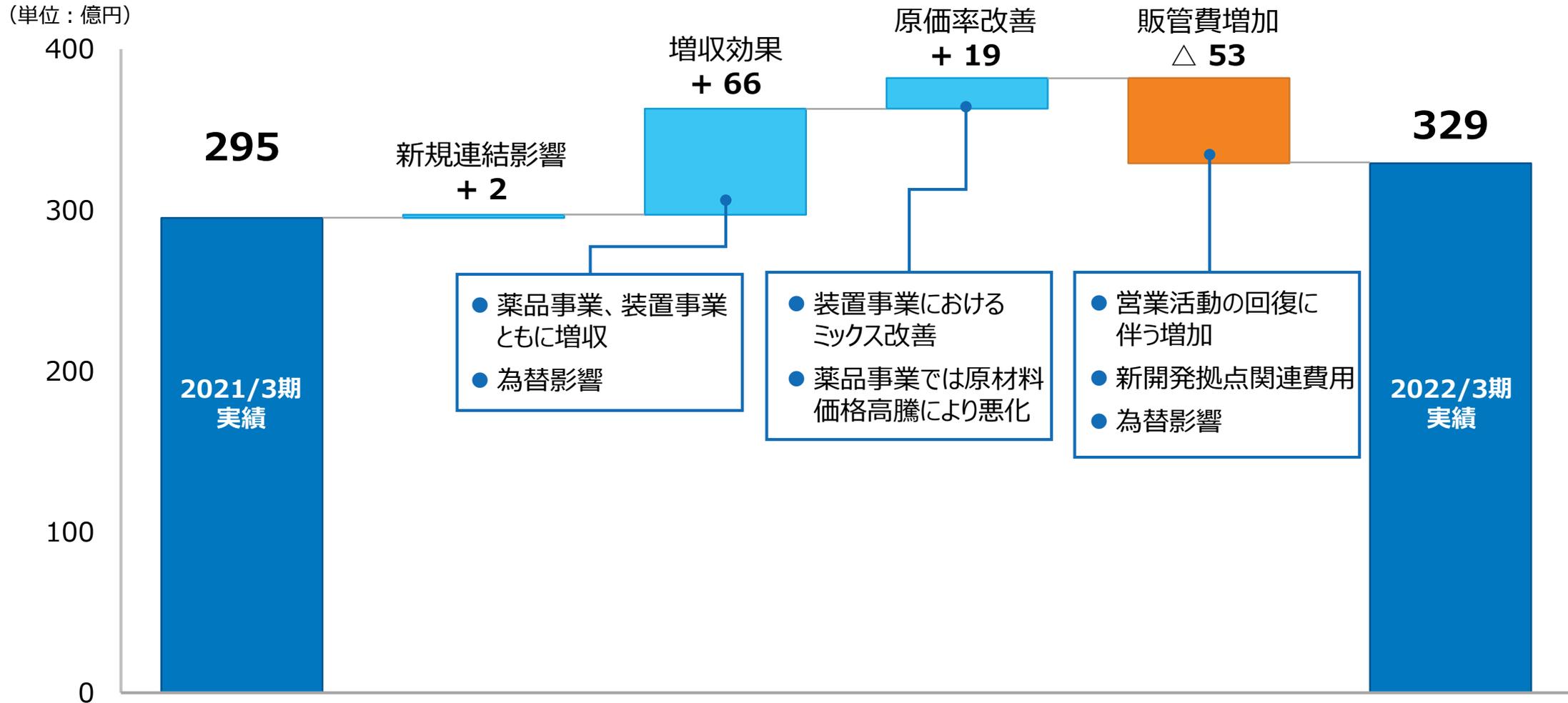
- 中東とカナダの水処理薬品会社の新規連結に加え、国内電子産業向けおよび海外の水処理装置事業と海外の水処理薬品事業で受注高・売上高が増加。
- ペンタゴン・テクノロジーズ社の将来の株式取得価額の事後評価が増加したことに伴う金融費用55億円を計上。

# セグメント別の実績

(単位：億円)		2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し (1/31発表)
全社	受注高	2,623	3,152	+ 529	2,960
	売上高	2,677	2,882	+ 205	2,910
	事業利益	295	329	+ 35	340
	事業利益率	11.0%	11.4%	+ 0.4pp	11.7%
	営業利益	315	357	+ 42	340
水処理薬品 事業	受注高	1,036	1,184	+ 148	1,174
	売上高	1,032	1,177	+ 144	1,173
	事業利益	123	136	+ 13	137
	事業利益率	11.9%	11.5%	△ 0.4pp	11.7%
	営業利益	118	146	+ 27	142
水処理装置 事業	受注高	1,588	1,968	+ 381	1,786
	売上高	1,645	1,705	+ 60	1,737
	事業利益	171	194	+ 23	203
	事業利益率	10.4%	11.4%	+ 1.0pp	11.7%
	営業利益	196	212	+ 15	198

- 水処理薬品事業は、新規連結影響に加え、海外での需要回復により、受注高・売上高ともに増加。
- 水処理薬品事業の事業利益は、増収効果が販管費増と原価率悪化影響を上回り、増益。
- 水処理装置事業の受注高は、主に国内外の電子産業向け装置の受注増により増加。
- 水処理装置事業の売上高は、国内一般産業向けで減収となるも、国内外メンテナンスや精密洗浄、超純水供給事業で増加。
- 水処理装置事業の事業利益は、販管費増を原価率改善と増収効果が上回り、増益。

# 事業利益の増減要因（前期比）



(単位：億円)	2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し (1/31発表)
<b>受注高</b>	<b>1,036</b>	<b>1,184</b>	<b>+ 148</b>	<b>1,174</b>
国内	426	434	+ 8	432
海外	610	750	+ 140	742
<b>売上高</b>	<b>1,032</b>	<b>1,177</b>	<b>+ 144</b>	<b>1,173</b>
国内	422	428	+ 6	431
海外	610	748	+ 139	742
<b>事業利益</b>	<b>123</b>	<b>136</b>	<b>+ 13</b>	<b>137</b>
<b>事業利益率</b>	<b>11.9%</b>	<b>11.5%</b>	<b>△ 0.4pp</b>	<b>11.7%</b>
<b>営業利益</b>	<b>118</b>	<b>146</b>	<b>+ 27</b>	<b>142</b>

- クリタ・アクアケミー社（中東）とキーテック・ウォーター・マネジメント社（カナダ）を新規連結。
- 国内は、製造業の生産活動の回復の動きを受け、顧客の工場稼働率が上昇するも、一部業種での新型コロナウイルスや半導体不足による工場稼働率低下の影響により小幅な増収。
- 海外は、需要回復に加え、新規連結影響や円安進行もあり増収。

## 海外地域別売上高

(単位：億円)	2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し (1/31発表)
アジア	225	268	+ 44	272
北南米	199	236	+ 38	231
EMEA	187	245	+ 58	239
<b>合計</b>	<b>610</b>	<b>748</b>	<b>+ 139</b>	<b>742</b>

### 増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 56
為替影響	+ 43
新規連結	+ 40

# 水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し （1/31発表）
<b>受注高</b>	<b>604</b>	<b>867</b>	<b>+ 263</b>	<b>651</b>
装置	66	255	+ 189	62
メンテナンス	170	201	+ 31	183
超純水供給事業	281	315	+ 33	310
精密洗浄	87	96	+ 9	96
<b>売上高</b>	<b>589</b>	<b>651</b>	<b>+ 61</b>	<b>651</b>
装置	57	69	+ 11	70
メンテナンス	165	172	+ 7	176
超純水供給事業	281	315	+ 33	310
精密洗浄	86	95	+ 9	95

- 装置は、主に4Qの大型案件の受注により受注高が増加し、売上高は受注済み案件の工事進捗により増加。
- メンテナンスは、顧客工場の堅調な稼働を背景に、受注高・売上高ともに増加。
- 超純水供給事業は、新規案件の寄与により増収。
- 精密洗浄は、新規案件の獲得により増収。

# 水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し （1/31発表）
<b>受注高</b>	<b>538</b>	<b>442</b>	△ 96	<b>566</b>
エネルギー・インフラ	465	364	△ 102	483
土壌浄化	46	51	+ 4	59
その他	27	28	+ 1	23
<b>売上高</b>	<b>602</b>	<b>515</b>	△ 87	<b>544</b>
エネルギー・インフラ	503	443	△ 60	470
土壌浄化	72	44	△ 28	50
その他	27	28	+ 1	23

- エネルギー・インフラの受注高は、一般産業向け装置で大型案件の受注取消や減額修正が発生し減少。
- エネルギー・インフラの売上高は、一般産業向けメンテナンスは増加するも、電力向け装置や一般産業向け装置で大型案件の工事進捗のあった前期から減少。
- 土壌浄化は、受注高が増加するも、売上高は前期における大型案件の売上計上の反動により減少。

# 水処理装置事業（海外）

(単位：億円)	2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し (1/31発表)
<b>受注高</b>	<b>446</b>	<b>660</b>	<b>+ 214</b>	<b>569</b>
装置	193	325	+ 132	254
メンテナンス	109	151	+ 43	138
超純水供給事業	31	32	+ 2	32
精密洗浄	114	151	+ 38	145
<b>売上高</b>	<b>454</b>	<b>540</b>	<b>+ 86</b>	<b>542</b>
装置	202	215	+ 14	225
メンテナンス	108	142	+ 33	140
超純水供給事業	31	32	+ 2	32
精密洗浄	114	151	+ 38	145

- 中国では、大型案件の受注や受注済み案件の工事進捗により受注高・売上高ともに増加。
- 韓国でも、大型案件の受注や受注済み案件の工事進捗により、受注高・売上高ともに増加。
- 台湾では、受注高は増加するも、売上高は前期の大型案件の売上計上の反動により減少。
- 米国では、主に精密洗浄事業が伸長。

## 地域別売上高

(単位：億円)	2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し (1/31発表)
アジア	261	312	+ 52	316
北南米他	193	227	+ 34	226
<b>合計</b>	<b>454</b>	<b>540</b>	<b>+ 86</b>	<b>542</b>

### 増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 50
為替影響	+ 36

# サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2021/3期	2022/3期	前期比	前回見通し (1/31発表)
水処理薬品事業	1,032	1,177	+ 144	1,173
水処理装置事業	1,253	1,353	+ 99	1,374
超純水供給事業	312	347	+ 35	342
国内精密洗浄	86	95	+ 9	95
海外精密洗浄	114	151	+ 38	145
土壌浄化	72	44	△ 28	50
国内メンテナンス	540	553	+ 13	578
海外メンテナンス	108	142	+ 33	140
その他	22	22	△ 0	23
<b>合計</b>	<b>2,285</b>	<b>2,529</b>	<b>+ 243</b>	<b>2,547</b>

- 水処理薬品事業は、新規連結影響に加え、海外での需要回復により増収。
- 水処理装置事業は、精密洗浄や超純水供給事業、海外メンテナンス等の電子産業向けが伸長。

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2021/3期	2022/3期	前期比
<b>設備投資額（有形*）</b>	<b>326</b>	<b>664</b>	<b>+ 337</b>
水処理薬品事業	81	108	+ 27
水処理装置事業	245	556	+ 310
<b>減価償却費（有形*）</b>	<b>179</b>	<b>201</b>	<b>+ 22</b>
水処理薬品事業	39	42	+ 2
水処理装置事業	140	159	+ 19
<b>研究開発費</b>	<b>53</b>	<b>54</b>	<b>+ 1</b>
水処理薬品事業	17	15	△ 2
水処理装置事業	36	39	+ 3

\* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、水処理装置事業における超純水供給事業向けや国内の新開発拠点向けの設備投資増により、増加。
- 減価償却費は、超純水供給事業における新規の水供給の開始、新開発拠点の稼働開始などにより増加。
- 研究開発費は、ほぼ前年並み。

# 財政状態

(単位：億円)	2021年3月末	2022年3月末	増減
現金及び現金同等物	622	457	△ 165
その他流動資産	1,143	1,327	+ 184
<b>流動資産合計</b>	<b>1,765</b>	<b>1,784</b>	<b>+ 19</b>
有形固定資産	1,176	1,610	+ 434
のれん	556	630	+ 74
その他非流動資産	752	676	△ 77
<b>非流動資産合計</b>	<b>2,484</b>	<b>2,916</b>	<b>+ 431</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,249</b>	<b>4,700</b>	<b>+ 451</b>
流動負債	750	1,139	+ 390
非流動負債	921	782	△ 139
<b>負債合計</b>	<b>1,671</b>	<b>1,921</b>	<b>+ 250</b>
親会社の所有者に帰属する持分	2,531	2,719	+ 188
非支配持分	47	59	+ 12
<b>資本合計</b>	<b>2,578</b>	<b>2,779</b>	<b>+ 200</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>4,249</b>	<b>4,700</b>	<b>+ 451</b>

- 超純水供給事業用設備の取得や新開発拠点の建設に伴い、有形固定資産が増加。
- 円安進行による為替影響、クリタ・アクアケミー社とキーテック社の連結子会社化により、のれんが増加。
- 政策保有株式の売却により、その他非流動資産が減少。
- 流動負債は、ペンタゴン・テクノロジーズ社株式の追加取得に係る負債を非流動負債から振り替えたことに加え、同社の事業計画の修正に伴う取得価額の事後評価増と為替影響により増加。
- 流動負債の増加には、社債発行や借入金の増加を含む。

## 2 | 2023年3月期 計画

---

- 国内の景気は、期後半にかけて緩やかに回復する。
- 海外は景気の回復がスローダウンし、前期よりも緩やかになる。
- 電子産業の旺盛な設備投資意欲は継続し、工場操業度も堅調さを維持する。
- 国内一般産業では、設備投資や工場稼働は緩やかに改善する。
- 原材料価格の高騰や部材不足の影響は、顕在化している部分を反映。

# 業績計画の概要

(単位：億円)		2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
受	注 高	3,152	3,200	+ 1.5%
売	上 高	2,882	3,250	+ 12.8%
事	業 利 益	329	380	+ 16.1%
そ	の 他 の 収 支	28	△ 15	—
営	業 利 益	357	365	+ 2.1%
税	引 前 利 益	301	365	+ 21.3%
親	会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 当 期 利 益	185	257	+ 39.1%
基本的1株当たり当期利益（円）		164.38	228.69	+ 39.1%
為 替 レ ー ト	USD（円）	112.4	124.0	
	EUR（円）	130.6	133.0	
	CNY（円）	17.5	19.0	

- 水処理薬品事業・水処理装置事業ともに増収となる計画。
- その他の収支には、主に旧開発・製造拠点の移転に関わる費用を見込む。
- 22/3期に計上したペンタゴン・テクノロジーズの株式追加取得に関わる金融費用がなくなることから、税引前利益・当期利益の大幅な増加を見込む。

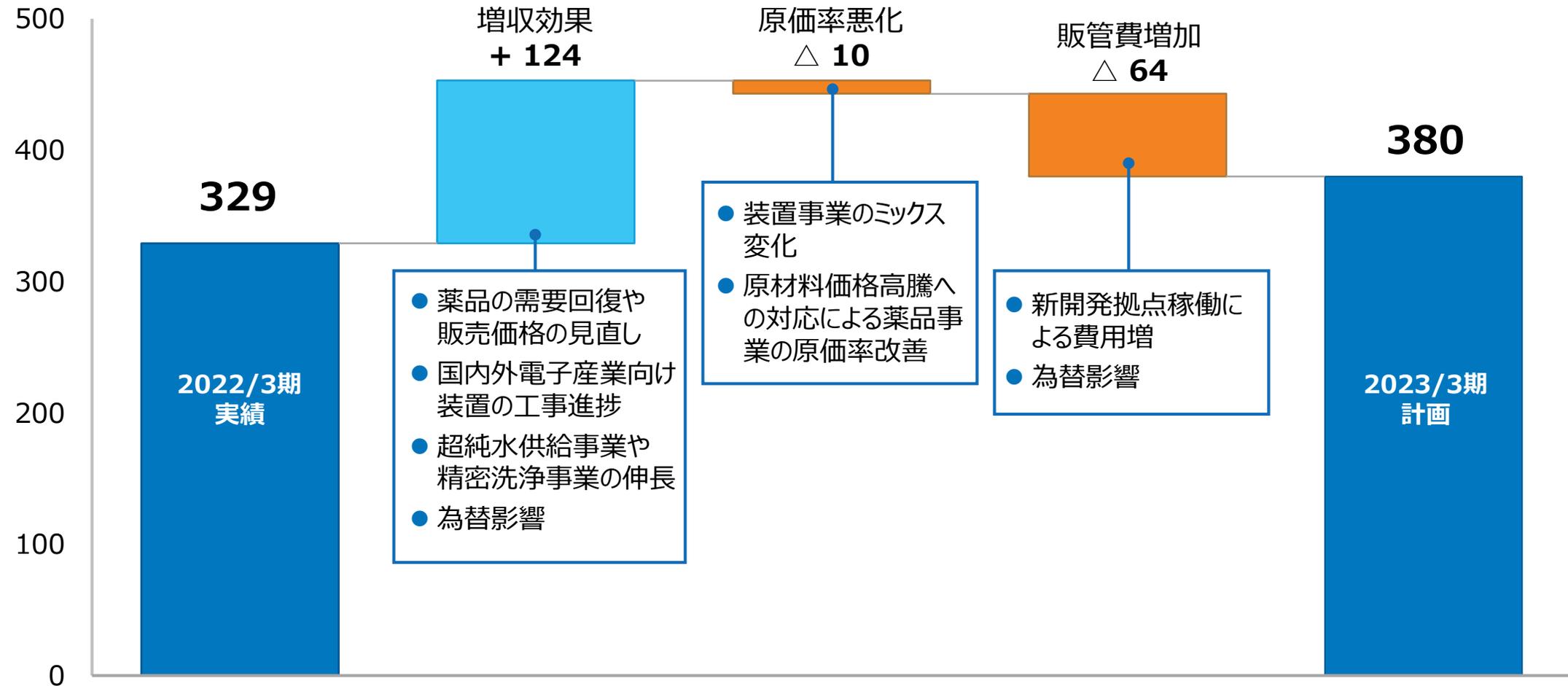
# セグメント別の計画

(単位：億円)		2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
全社	受注高	3,152	3,200	+ 48
	売上高	2,882	3,250	+ 368
	事業利益	329	380	+ 51
	事業利益率	11.4%	11.7%	+ 0.3pp
	営業利益	357	365	+ 8
水処理薬品事業	受注高	1,184	1,270	+ 86
	売上高	1,177	1,265	+ 88
	事業利益	136	151	+ 15
	事業利益率	11.5%	11.9%	+ 0.4pp
	営業利益	146	147	+ 1
水処理装置事業	受注高	1,968	1,930	△ 38
	売上高	1,705	1,985	+ 280
	事業利益	194	229	+ 35
	事業利益率	11.4%	11.5%	+ 0.1pp
	営業利益	212	218	+ 6

- 水処理薬品事業は、増収と原価率の改善により増益の計画。
- 水処理装置事業の受注高は、前期に国内外における電子産業向け装置の大型案件を受注した反動により減少する計画。
- 水処理装置事業の売上高は、受注済み案件の売上計上による増収に加え、超純水供給事業や精密洗浄の伸長により増収の計画。
- 水処理装置事業の事業利益は、増収効果が販管費増や原価率悪化の影響を上回り、増益の計画。

# 事業利益の増減要因（前期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
<b>受注高</b>	<b>1,184</b>	<b>1,270</b>	<b>+ 86</b>
国内	434	448	+ 14
海外	750	822	+ 72
<b>売上高</b>	<b>1,177</b>	<b>1,265</b>	<b>+ 88</b>
国内	428	443	+ 15
海外	748	822	+ 73
<b>事業利益</b>	<b>136</b>	<b>151</b>	<b>+ 15</b>
<b>事業利益率</b>	<b>11.5%</b>	<b>11.9%</b>	<b>+ 0.4pp</b>
<b>営業利益</b>	<b>146</b>	<b>147</b>	<b>+ 1</b>

- 国内・海外ともに原材料価格高騰に対応する販売価格の見直しを継続的に実施。
- 国内の売上高は、期後半にかけて需要回復や販売価格見直しの効果を見込み増収の計画。
- アジアでは、高収益製品・サービスへの切り替えを推進することから、緩やかな伸び。
- 米国では、早期のPMIの完遂とサプライチェーンの改善に加え、高付加価値製品の展開を推進。
- 欧州では、タイムリーな販売価格の見直しと高付加価値製品の展開により増収の計画。

## 海外地域別売上高

(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
アジア	268	281	+ 13
北南米	236	275	+ 39
EMEA	245	265	+ 21
<b>合計</b>	<b>748</b>	<b>822</b>	<b>+ 73</b>

### 増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 36
為替影響	+ 38

# 水処理装置事業（国内電子産業向け）

（単位：億円）	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
<b>受注高</b>	<b>867</b>	<b>723</b>	<b>△ 143</b>
装置	255	78	△ 176
メンテナンス	201	179	△ 23
超純水供給事業	315	365	+ 50
精密洗浄	96	102	+ 6
<b>売上高</b>	<b>651</b>	<b>801</b>	<b>+ 150</b>
装置	69	159	+ 90
メンテナンス	172	176	+ 3
超純水供給事業	315	365	+ 50
精密洗浄	95	102	+ 7

- 装置は、前期に受注した大型案件の反動から受注高が減少するも、売上高は工事進捗に伴い増加を計画。
- メンテナンスは、受注高は減少するも、売上高は微増の計画。
- 超純水供給事業は、新規案件の水供給の開始により増収の計画。
- 精密洗浄は顧客工場の高い稼働率や新規案件の獲得を見込み増収の計画。

# 水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
<b>受注高</b>	<b>442</b>	<b>575</b>	<b>+ 133</b>
エネルギー・インフラ	364	484	+ 120
土壌浄化	51	64	+ 14
その他	28	27	△ 1
<b>売上高</b>	<b>515</b>	<b>536</b>	<b>+ 21</b>
エネルギー・インフラ	443	449	+ 6
土壌浄化	44	60	+ 16
その他	28	27	△ 1

- エネルギー・インフラの受注高は、前期に一般産業向け装置で大型案件の受注取消や減額修正があった反動から増加し、電力向け装置やエンジニアリング洗浄も増加の計画。
- エネルギー・インフラの売上高は、一般産業向け装置で減収も、官公需やエンジニアリング洗浄で増加を計画。
- 土壌浄化は、受注高・売上高ともに増加の計画。

# 水処理装置事業（海外）

(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
<b>受注高</b>	<b>660</b>	<b>632</b>	△ 28
装置	325	239	△ 86
メンテナンス	151	169	+ 18
超純水供給事業	32	33	+ 1
精密洗浄	151	191	+ 40
<b>売上高</b>	<b>540</b>	<b>648</b>	<b>+ 108</b>
装置	215	264	+ 49
メンテナンス	142	161	+ 19
超純水供給事業	32	33	+ 1
精密洗浄	151	191	+ 40

- 中国では、受注高は減少も引き続き高い水準となり、売上高は増加を計画。
- 韓国は、前期に受注した大型案件の反動により受注高は減少するも、売上高は増加の計画。
- メンテナンスは、起点となる装置の積み上がりやサービス事業の展開の加速により、受注高・売上高ともに増加する計画。
- 精密洗浄は顧客工場の高い稼働率や新規案件の獲得を見込み増収の計画。

## 地域別売上高

(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
アジア	312	363	+ 51
北南米他	227	285	+ 58
<b>合計</b>	<b>540</b>	<b>648</b>	<b>+ 108</b>

### 増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 65
為替影響	+ 44

# サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
水処理薬品事業	1,177	1,265	+ 88
水処理装置事業	1,353	1,519	+ 167
超純水供給事業	347	397	+ 51
国内精密洗浄	95	102	+ 7
海外精密洗浄	151	191	+ 40
土壌浄化	44	60	+ 16
国内メンテナンス	553	582	+ 29
海外メンテナンス	142	161	+ 19
その他	22	27	+ 5
合計	2,529	2,784	+ 255

- サービス事業売上高は増加も、サービス事業の売上高比率は、前期に獲得した大型装置案件の売上計上により、前期に比べ低下する計画。

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

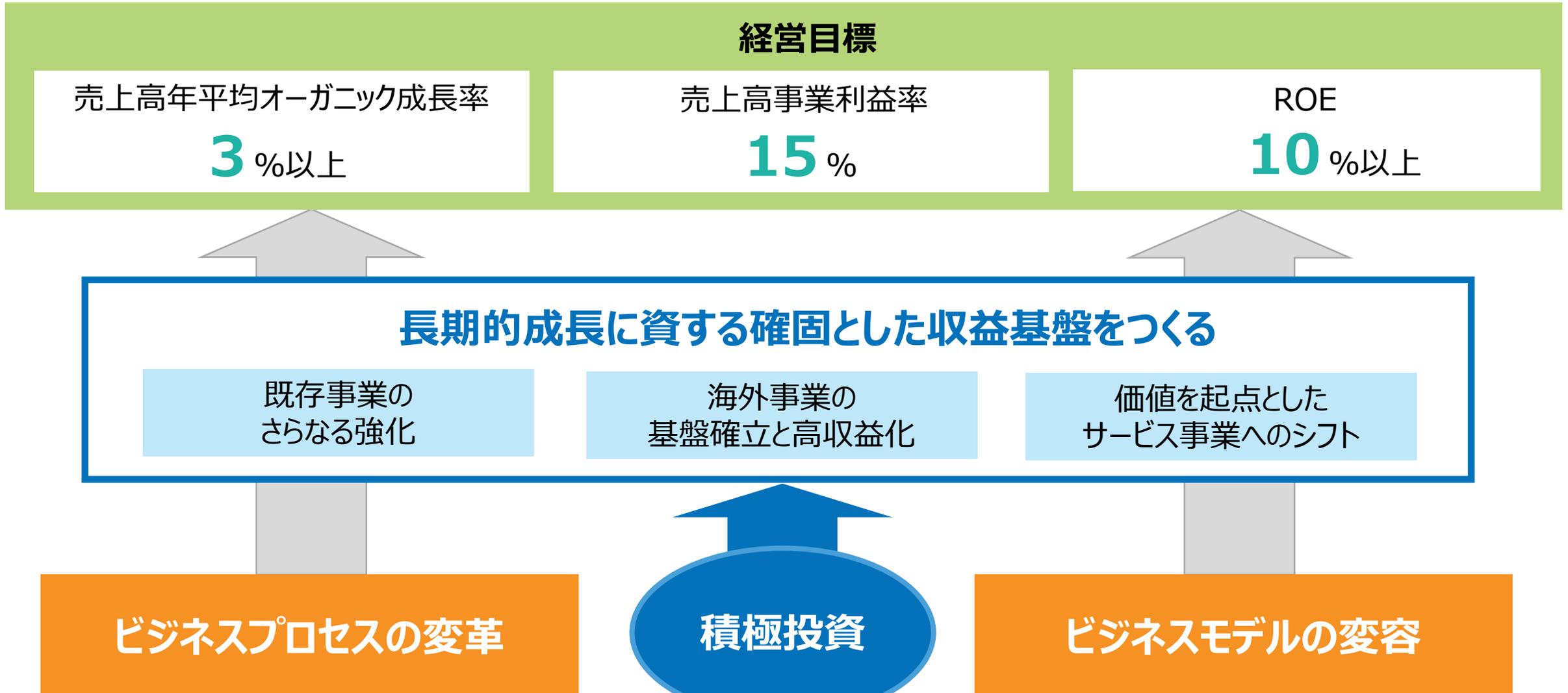
(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比
<b>設備投資額（有形*）</b>	<b>664</b>	<b>537</b>	<b>△ 127</b>
<b>減価償却費（有形*）</b>	<b>201</b>	<b>235</b>	<b>+ 34</b>
水処理薬品事業	42	44	+ 2
水処理装置事業	159	191	+ 32
<b>研究開発費</b>	<b>54</b>	<b>58</b>	<b>+ 5</b>
水処理薬品事業	15	17	+ 1
水処理装置事業	39	42	+ 3

\* 使用権資産含む。

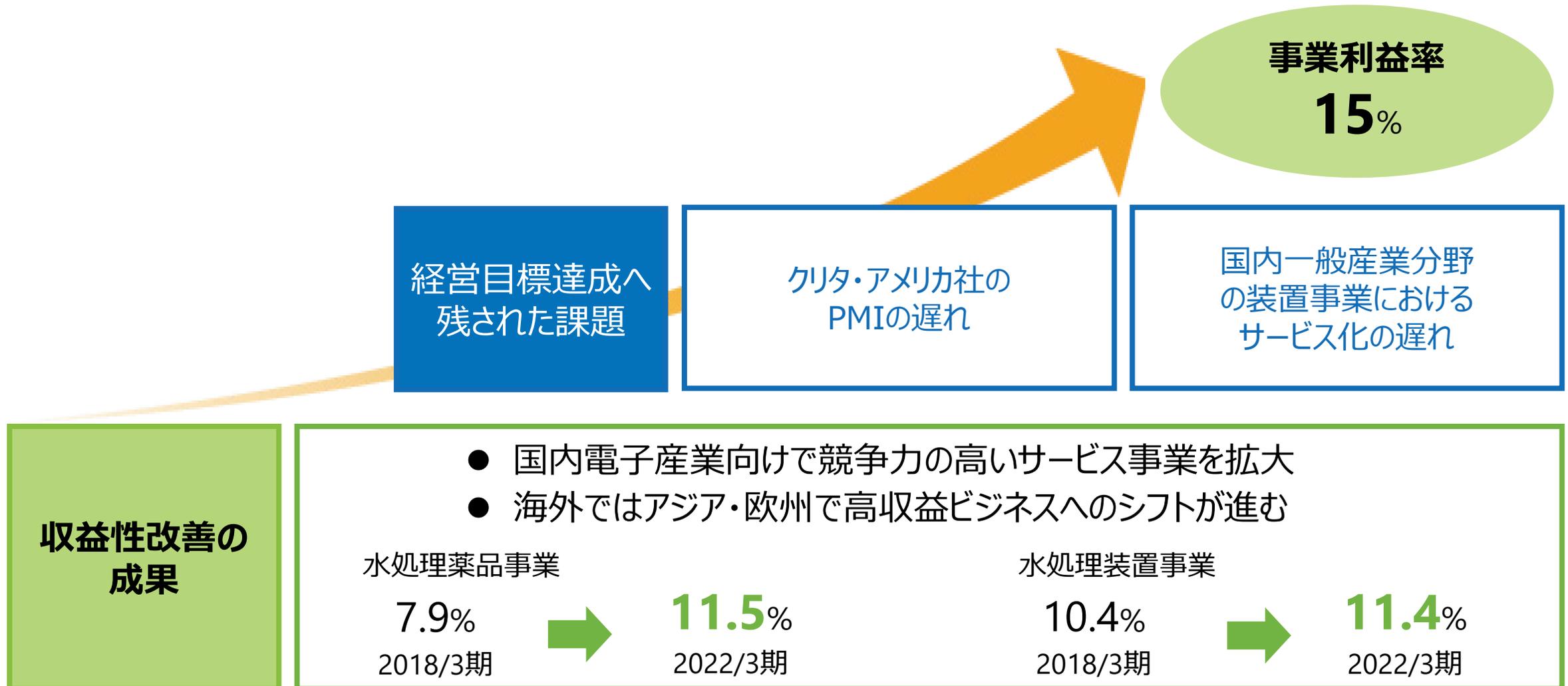
- 設備投資額は、超純水供給事業では前期並みの投資を見込むも、前期の新開発拠点への投資の反動から、減少する計画。
- 減価償却費は、超純水供給事業での新規案件の水供給の開始や新開発拠点の稼働に伴い増加する計画。
- 研究開発費では、新開発拠点の関連費用が増加する見込み。

### 3 | 中期経営計画MVP-22 (Maximize Value Proposition 2022)の進捗

---



## 事業利益15%達成への取り組みは継続



## 次期中期経営計画に向け、 高収益体質を確立し長期的な成長に資する基盤を構築する

成長事業の  
さらなる強化

クリタ・アメリカ社  
の早期収益化

一般産業分野  
における  
ビジネスモデルの  
再構築

## 電子産業向けの継続的な価値提供を拡充



## 総合ソリューションを展開する基盤構築へ

2023年3月期

2024年3月期

2025年3月期

薬品事業の収益化

製品規格の統合

サプライチェーンの再構築

原材料価格を反映した販売価格の見直し

CSVビジネスの展開

事業基盤拡大



総合ソリューション展開

電子産業向け装置事業展開の検討

電子産業での事業機会の拡大

## 大型EPCから価値起点のサービス事業へシフト

提供価値

脱炭素/サーキュラーエコノミー

省人化

省コスト

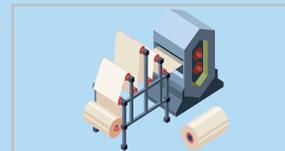
多様な顧客市場



バイオマス



自動車



紙・パルプ



食品・飲料

継続型ビジネスモデル

純水供給サービス

Kurita Dropwise Technology

排水処理の3Sソリューション

ドリームポリマー配合品

など

基盤となる製品・技術・サービス

水処理薬品

規格型装置

メンテナンス

DX

石油・鉄鋼



化学

サービス事業のラインナップ強化



#### 将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している商標（製品、サービス、ロゴ）は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。